

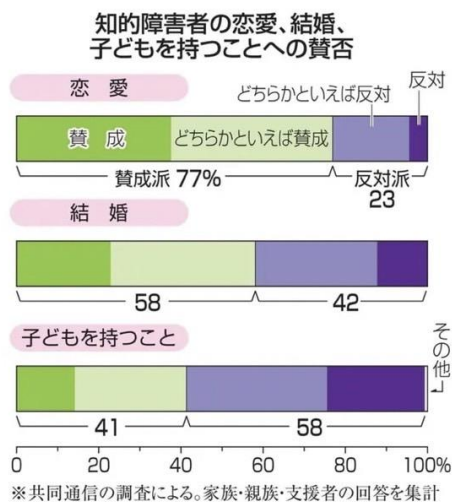
障害者にも結婚や子育ての権利を

障害を持っている人が、結婚し子供を持つことを望むのは許されないことなのだろうか。SNS を見ていた際に、障害をもつ人同士のカップルが、子育て支援を求めているというニュースが流れてきて、目に止まった。

そこで、障害者同士の結婚や子育てなどについて調べていこうと考えた。



・障害者同士の恋愛について



(写真：47NEWS)

「障害を持つ人が、子育てしやすい支援があれば、全ての人が子育てしやすい社会になる」という考えを持つ人もいる。

まず、障害者同士の恋愛、結婚、子供を持つことについての世間の意見である。

恋愛や、結婚については自由だが、子供を持つことについては、反対の意見が多いことが図を見て分かる。子育てまで支援とするのは、支援の枠を超えているのではないか、という指摘もある。

その一方で、結婚や子育ては誰もが平等に持っている権利だという意見も挙がった。

・障害者の子育て支援

障害者総合支援法の中の、居宅介護の業務に含まれる「育児支援」があり、それは、利用者が子どもの保護者として本来家庭内で行うべき養育を代替するもの、とされている。

しかし、実際には自治体や事業所によってばらつきがあり、育児支援を受けられない人も多い。また、家族や親族が支えることが前提となっているため、制度自体定着していないのが現状である。



・私の考え

障害を持つ人も、ない人も、全員に、自由に恋愛し子育てをする権利があると思う。だから、障害を持つ人たちが、子育てしやすいように、制度や支援を整えていく必要がある。そのためには、家族や親族が支えるのが当たり前だという、世間の認識を変える必要があると考える。世間の人々が、障害者を含む子育てがしたいけれど、難しい人々が存在することを知り、それを支え合って共生していくことが、大切だと考えた。

参考文献

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/829/>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bf65a33e8466b74d75d51522eb602c4a44d4a330?page=2>

